

秋晴れの下 運動会開かる!!

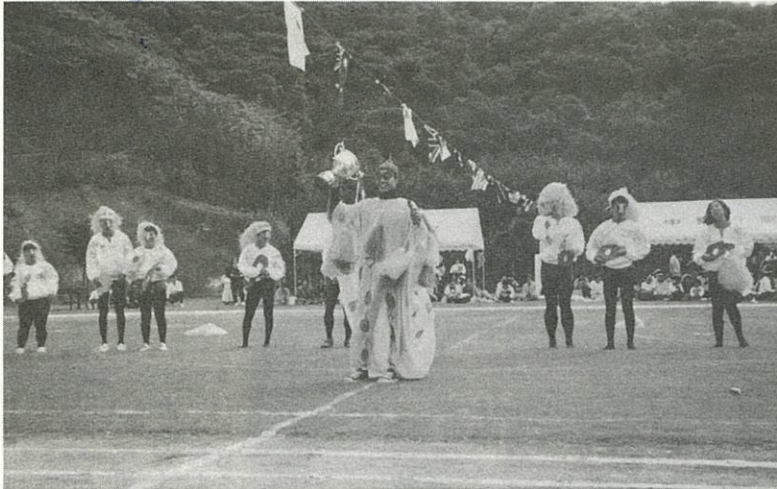


中里の家だより
第 22 号

発行年月日
平成4年11月10日

発行
社会福祉法人
安房広域福祉会

〒294-02
館山市中里288-1
0470(28)2022



爽やかな秋空の下、去る10月18日に第6回中里の家運動会が開催されました。今年度の運動会は、地域との合同運動会という形で競技内容など計画段階から、各地区長・老人会・婦人会・子供会に協力をいただき、当日には地域の方々150名を迎え総勢300名を超える盛大な運動会となりました。

80M走の熱戦で運動会の始まりです。施設利用者、地域の子供達全員元気よく走り、中には裸足で走る子供の姿も見られました。老人会の競技では、子供達の姿に影響されたのか若々しくハッスルする姿がとても印象的でした。そして綱引き・楽しく踊ろう・紅白玉入れは、利用者と地域の方々との合同競技です。お互いのふれあいの中でコミュニケーションが図られたのではないのでしょうか。そして最後の種目地区対抗リレー・紅白リレーでは、優勝をかけての熱戦が繰り広げられました。

今年度の運動会の結果は紅組の優勝でしたが、運動会を終えての一番の収穫は利用者一人一人の頑張りと、地域住民の方々とのふれ

あいではなかったかと思えます。利用者・職員とも、地域の中の一員としてこれからも明るく楽しく過ごしてゆきたいと思えます。



第6回 納涼会を終えて

去る八月四日、地域の方々の山の参加のもとに第六回中里の家の納涼会が行われました。

夕なぎを感じ、盆踊りの曲が流れ、浴衣姿の利用者と艶やかな演出もあり、さあお祭りが始まりました。各地域の方々も

早くから御参加頂き、各ゲームに熱中する姿や、各夜店に長蛇の列が見られました。さらに仲宿青年会の皆様の御協力もあり、屋台の引き回しもはち巻姿の勇ましい利用者と子供会の皆様とで元氣よく行われました。

大変なにぎわいとなってきた中、納涼会のメイン、カラオケ大会が始まりました。

日頃から中里の家に温かい御支援を頂いている来賓の皆様、地域の皆様、利用者、保護者の、のど自慢。デュエットもあり、和氣あいとい時間過ぎて

いきました。

そして、このカラオケに見られた地域の方々と中里ファミリーの笑顔、その笑顔は気持ちも一つになった様に見え、夏のお祭りを盛会のうちに終えました。



給食係より

天高く馬肥ゆる秋、中里の家のみんなの好きな献立ベスト3は、カレーライス、お寿司、天ぷらうどんかな。

今年の夏は、猛暑の為、食中毒警報発令の期間も長く67日間も続き、食事提供側としては、献立に生ものを控えたり、前日調理をしない。又、昆虫侵入防止の為に、大汗を流しながらの下水清掃等、大変、気を配って参りました。

そして利用者の皆さんも、食事前の手洗いを励行してくれたので、幸い、何の事故もなく、秋を迎えることができ、これからは、みんなの好きな献立の一つの「たたきまぐろの中巻き寿司」の季節になります。昨年は、野菜不足の秋でしたが、今秋は、野菜も豊富にあり価格も安定しているので恵まれています。毎年、農耕班のみんなが、さつま芋を上手に作り、今年も、又、さつま汁が期待できそうです。

次週の献立表が、できる頃になると、それを楽しみにしている人があり、そういう期待に沿える様に、これからも調理のみんなと協力しながら頑張りたいと思います。

各グループ 行事・活動紹介

Aグループ

Aグループでは、少しでも自分のことが自分でできるようになるため、日頃心がけ活動を行っています。まず基礎体力づくりとして年間を通して歩行訓練を行っています。小塚大師・野鳥の森・八坂神社・中里青年館をコースに取り入れ、皆で手をつなぎ交通ルールを守り、四季折々の自然にふれあいながら楽しくやっています。雨の日はこのかわる体力づくりとして、室内でサーキットトレーニングというものを行っています。主にマット運動ですが、新しく揃えた飛び箱・平均台・トランポリンなども利用し、初めは苦手としていた利用者も今ではだいぶ慣れ元気に参加しています。その他に、自分たちで育てたアサガオを使っ

てしぼり染めを行ったり、ストロー

に糸を通してのれんを作ったり、指先の細かい作業にもいろいろ取り組んでいます。

行事としては夏には海水浴、磯辺でバーベキューなど行い、遠足ではマザー牧場・藤原運動公園・城山公園などに、マイクロボスを利用して、野外でもいろいろな活動をして充実した日々を過ごしています。

Bグループ

日常生活で秋の気配が、だんだんと深まっていくのを感じる今日この頃、皆様はどのようにお過ごしでしょうか。私達中里の家、Bグループでも、日々の生活が、しのぎやすく、利用者・職員とも、活動に、より一層力が入る時期になりました。そこでBグループのモットーとしては、明るく、元気

に、できるかぎり外での活動という事で、体育活動を利用し、野鳥の森・小塚大師に散歩に行き、その場でバレーボール・バドミントンのサッカーなどを行ったり、マイクロボスに乗り藤原運動公園に出むき、アスレチックで汗を流したりしています。その他、余暇時間を使い、居室単位でのグループ外出として、安房博物館の見学、ジャスコでの買い物、ローズマリー公園・清澄寺へのドライブなど、色々な場所への外出も行っています。これから先も、できるかぎり外への活動を多く計画していきま

すので、皆様、見かけた時には、気軽に声をかけてください。

Cグループ

Cグループでは、自分達の事は自分達で行えるように、福祉的

立、就労を目的とし、毎日色々な訓練・活動を行っています。

自炊生活を足がかりとする自炊訓練では実際に調理を行い、学習会及びグループ学習外出では、日常生活に必要な基礎知識を学習し、実際に館山市街に外出し、買い物や銀行・図書館の利用など行っています。今では金銭の入金出金も、ほぼ自分達で行えるようになりました。また、地域公共施設の清掃をする奉仕活動も積極的に取り組んでいます。

今年の8月末からは、長イスを造る木工作業が始まり、Cグループでは8名が参加しています。就労の足がかりとなる大きな仕事です。一人一人が仕事への責任を持ち頑張っています。

こうした活動を通し、また地域の色々な行事に参加する中で、利用者一人一人が自分で考えて行動し、仲間同士で話し合ったりできるようになってきました。こうした人と人との係わりを大切に、職員共に頑張りたいと思います。

木製長椅子・・・ ・・・製作について

地区保護会や新聞・テレビで告知しようが、従来中里の家の木工班で製作していた木製長椅子が、館山市社会福祉協議会の展開している地域ぐるみ福祉活動の一つ「一息ベンチ」の配布事業に使用されることになりました。このことは今までの作業指導訓練の成果と受け止め、又今後の施設の方角づけとしても極めて有効な手掛りになると考え、施設をあげて取り組んでいます。

木製長椅子は、米松の木を使用して、長さ一・五メートル、幅三十八センチメートル、高さ四十三センチメートルで、厚みは四センチメートルあり、心をこめて丁寧に焼き込み、磨きをかけたものです。

十月二日に第一回引き渡し式を終え、早速宮城のゲートボール場に設置され、お年寄たちに喜ばれています。

製作期間三か年、製作台数三百

台は始まったばかりです。これからも皆様の協力で成功させると共に、他の作業班についても、このような取り組みを行っていきたいと考えています。



編集 後記

平成四年、秋、第二十二号をお届けいたします。大成功に終わった納涼会、そして運動会。利用者の頑張り、地域の皆様とのふれあいは、とてもいい思い出となりました。

また、グループでの日々の活動は、グループごと、それぞれに目的をもち取り組んでいます。そして新たに始まった木製長椅子製作は、地域の皆様に喜んで使っていただけできるよう、一台一台心をこめて製作しています。

「虹」を発行するにあたり御協力下さいました方々、有難うございました。